

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

11月18日に祝津ホタテ養殖漁場のホタテ部会の試験用桁で、表層から水深30mの浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした (表1)。しかし、5月12日に垂下した試験籠への付着状況では 164個体と、3年間の調査で最多を更新しました (図1)。付着サイズは平均38.8mm (最大58.6mm、最小9.9mm) でした。ザラボヤ付着器に3個体の付着が見られるとともに (表2)、小型の付着も確認されたことから (図2)、今月の付着数が増加に転じたのは、9月から10月ごろに籠への新規の付着があったものと考えられます。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【μg/L】	ザラボヤ	
				個	個/トッ
ホタテ部会の 調査桁	0~30m	13.6~14.6	0.43~1.11	0	0

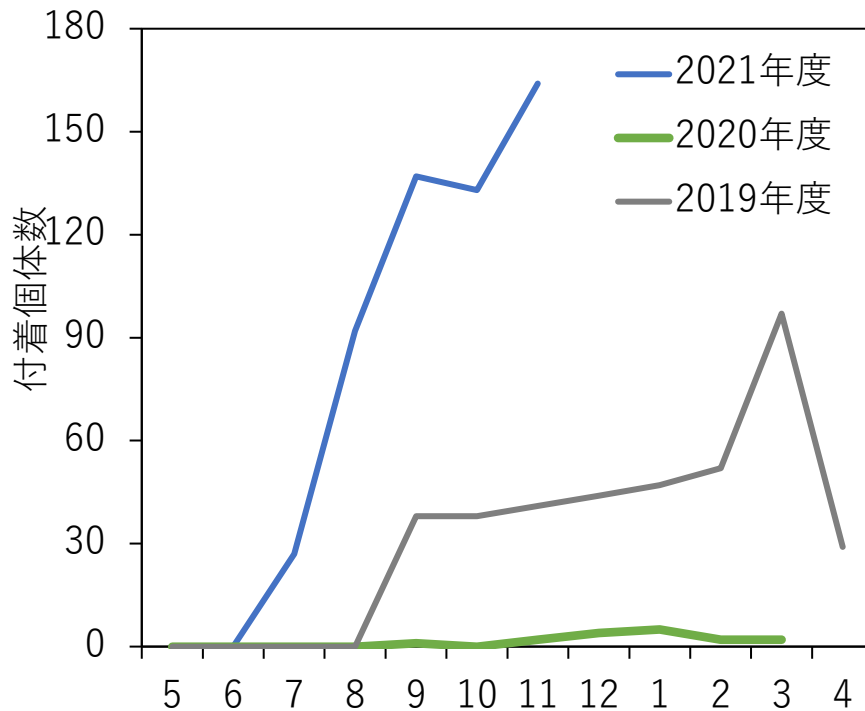


図1：籠へのヨーロッパザラボヤの付着数の変化

表2：ザラボヤ付着器への付着数

設置	回収	付着数
5月12日	7月14日	21
6月16日	8月6日	0
7月14日	9月15日	1
8月6日	10月7日	0
9月15日	11月18日	3



写真1 ザラボヤ付着器

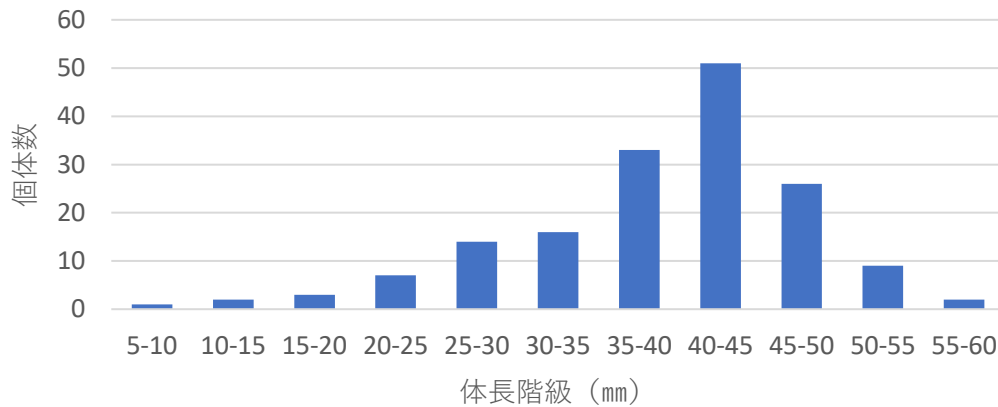


図2：体長階級別ザラボヤ付着個体数

【参考資料】

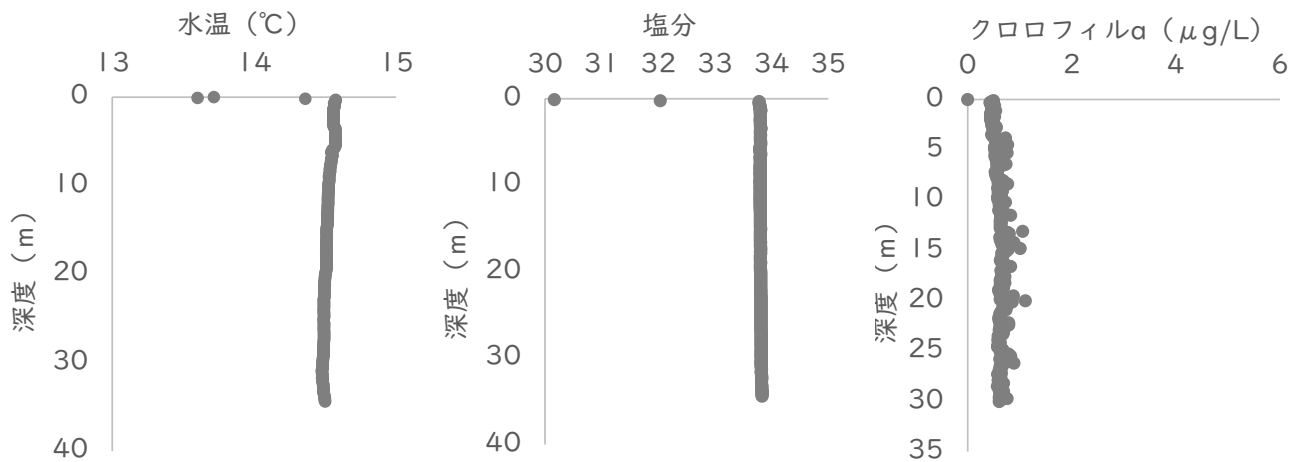


図3：ホタテ部会調査桁の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：12月中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場 HP から確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>